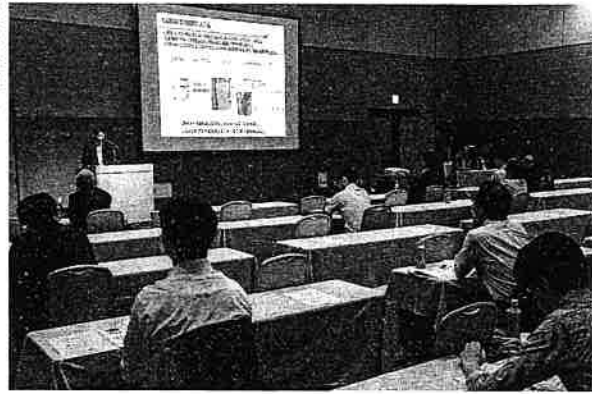


メーカーなど新技術提案

道設備設計事務所協会 技術情報発表会



北海道設備設計事務所協会（山田修会長）は4日、札幌カーデンパレスで技術情報発表会を開いた。機械・電気設備メーカーなど14社が、新たな技術や製品を提案した。約120人が参加。開

省エネや施工性向上の手法を各社が訴求した。などの発表を聞いて実務の参考にしてみられたい」と呼び掛けた。機械設備の発表には9社の各担当者が登壇し、北海道ガス（本社・札幌）は事業会社で手掛ける

エネルギーマネジメントシステムを解説。高効率なエネルギー利用を支援する手法として訴求した。

ダイキンHVACソリューション北海道（本社・札幌）は、フロン排出規制法に基づく指定製品化の話題を提供。受講した道建設部の榎田秀幸施設整備・脱炭素化担当局長は「制度変更は設計に影響してくるので話を聞きたかった」といい、学びを深めていた。

電気設備ではリニューアル改修向け照明器具やバイオガス発電など、近年注目が集まる分野の製品・技術を5社が紹介。発表会終了後は設備メーカー20社が出展し、パネル・商品展示会を開いた。